

## 船橋水素ステーションの運用開始について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下 功夫)は、大陽日酸株式会社(本社:東京都品川区小山一丁目、社長:松枝 寛祐)およびバブコック日立株式会社(本社:東京都千代田区外神田四丁目、社長:伊佐 均)とともに、経済産業省が実施するJHFCプロジェクト(注)の一環として、昨7月9日、当社船橋油槽所(所在地:千葉県船橋市西浦二丁目)において、移動式水素ステーションの運用を開始いたしました。

(注) JHFCプロジェクト

「水素・燃料電池実証プロジェクト(Japan Hydrogen & Fuel Cell Demonstration Project)」とは、経済産業省が実施する燃料電池システム等実証試験研究補助事業に含まれる「燃料電池自動車等実証研究」と「水素インフラ等実証研究」から構成されるプロジェクトです。

JHFCプロジェクトでは、各種原料からの水素製造方法、現実の使用条件下での燃料電池自動車(FCV)の性能、環境特性、エネルギー総合効率や安全性などに関する基礎データを収集・共有化し、本格的量産と普及の道筋を整えていきます。

2. 今回運用を開始した設備の主な仕様等は次のとおりです。

- (1) 名称: JHFC船橋水素ステーション
- (2) 設置形式: 移動式(設備は全て車載)
- (3) 供給水素圧力: 35/25MPa
- (4) 高圧蓄ガス器: 720L
- (5) 蓄圧器圧力: 40MPa(最大)
- (6) 供給水素純度: 99.99%以上
- (7) 連続充填能力: 乗用車連続2台

3. 船橋水素ステーションは、全ての設備が車載可能であるため、移動式水素ステーションとして機能し、燃料電池自動車等を使った各種イベントへの協力に加え、定置式水素ステーションによる水素充填対象エリア外をカバーする設備として期待されています。

4. なお、今回運用を開始した設備は、これまで東京都青梅市に設置されていた設備を移設したものです。

以上

### ● 【参考資料】「JHFC船橋水素ステーション」の写真

